

## 特別支援学級 体育科学習指導案

学 級                    さくら学級（いずみグループ）    11名  
 指導者                井筒 大地 T1 鈴木 一平 T2  
 学校生活支援員    射場 ゆかり 井谷 早苗

1 単元名    多様な動きをつくる運動「なかよくジャンプ・ジャンプ・ダンス」

### 2 単元の目標

- 【運 動】 自分の能力に適した体の基本的な動きを身に付けることができる。
- 【態 度】 運動にすすんで取り組み、きまりを守って安全に活動に取り組んでいる。
- 【思考・判断】 友達と一緒に楽しく活動をしようとしている。  
 用具を意識し、教師の働きかけを受け、自分の課題に取り組もうとしている。

### 3 単元の評価規準

#### (1) グループ評価規準

- 【運動への態度】                    ・安全にきまりを守って活動にすすんで取り組んでいる。
- 【運動についての思考・判断】    ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。  
     ・用具を意識し、教師の働きかけを受けて、自分の課題に取り組もうとしている。
- 【運動の技能】                        ・リズムの変化に合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。  
     ・両足をそろえて踏み切り、高く跳ぶことができる。  
     ・押す、引くなどの力試しの動きの基礎を身に付けることができる。

#### (2) 個別の評価規準

	運動への態度	運動についての思考・判断	運動の技能
4年 A児	・活動のきまりを守って、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動に取り組もうとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・正確にケンケンバができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
4年 B児	・活動のきまりを守り、安全に取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動に取り組もうとしている。 ・友達と仲良く楽しく活動をしようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・連続してフラフープを跳ぶことができる。 ・力の加減をしながら、押す、引く動きをすることができる。
4年 C児	・安全に、意欲的に活動に取り組んでいる。	・用具を意識し課題を考えて活動しようとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動をしようとしている。	・リズムの変化に合わせて歩く、走る、跳ぶ動きができる。 ・的をめがけて、高く跳ぶことができる。 ・力の加減をしながら、押す、引く動きをすることができる。

5年 D児	・活動のきまりを意識し、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題に取り組もうとしている。 ・友達を意識して活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きができる。 ・高さを意識し、両足踏み切りで跳ぶことができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
5年 E児	・活動のきまりを守って、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動に取り組もうとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。	・リズムの変化に合わせて歩く、走る、跳ぶ動きができる。 ・正確にケンケンパができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
5年 F児	・安全に、意欲的に活動に取り組んでいる。	・用具を意識し、教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動を工夫しようとしている。 ・友達と楽しく活動しようとしている。	・リズムの変化に合わせて歩く、走る、跳ぶ動きができる。 ・的をめがけて高く跳ぶことができる。 ・力の加減をしながら、押す、引く動きをすることができる。
5年 G児	・活動のきまりを意識し、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題に取り組もうとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・両足踏み切りでハードルを跳び越えることができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
5年 H児	・活動のきまりを守って、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動に取り組もうとしている。 ・友達を意識して楽しく活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・連続してフラフープを跳ぶことができる。 ・力の加減をしながら、押す、引く動きをすることができる。
6年 I児	・活動のきまりを意識し、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動しようとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・両足踏み切りでハードルを跳び越えることができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
6年 J児	・活動のきまりを意識し、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題に取り組もうとしている。 ・友達を意識して活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・正確にケンケンパができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。
6年 K児	・活動のきまりを守って、すすんで取り組んでいる。	・教師の働きかけを受けて課題を意識し、活動しようとしている。 ・友達と一緒に楽しく活動しようとしている。	・リズムに合わせて歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。 ・連続してフラフープを跳ぶことができる。 ・力強く押す、引く運動ができる。

#### 4 単元について

##### (1) 児童の実態

本グループの児童は、高学年で構成されていて、低学年時から体育の授業や体育的行事を通して、並んで歩くことやまっすぐ走るといった基本的な体の動かし方や運動の楽しさを味わう経験をしてきた。様々な動きを行うことに興味や関心をもち、積極的に体を動かそうとする姿勢は身に付いている。

日常の動作や他の領域での授業、体力テストでの立ち幅跳びや反復横跳びの様子を観察すると、両足で踏み切って跳ぶことや体を横に移動させる動きが苦手である児童が多いことがわかった。

先の見通しをもって行動をすることが苦手な児童が多く、見通しがもてないということで不安感が募ってしまう。失敗した経験をうまく成功に生かすことができず、意欲を低下させてしまう児童

も多い。活動を通しての成功体験と、見通しをもたせ安心感を与える環境作りが大切である。

普段、休み時間や放課後に友達と一緒に体を動かすという機会の少ない児童が多いので、意図的に人とのかわりがもてるよう活動を工夫している。

## (2) 多様な動きをつくる運動の特性

多様な動きをつくる運動は、児童が日常生活の中で自然に経験している動きが多い。日常生活と授業での意図的運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けていくことが大切だと考えると、日常生活での運動経験が少ない本学級の児童には、この運動をより意図的、計画的に授業の中で行っていく必要がある。

本単元では、多様な動きの中から、体を動かす基本である「体を移動する運動」という部分の運動経験が少ない児童が多いという実態を踏まえ、楽しく安心して運動ができるような活動計画を立てた。リズムや用具を意識しながら様々な運動を経験させ、短縄の指導につなげていきたいと考えている。

本単元は年間を通じて月1時間、雨天時などにさくら学級校舎内で行う体育の授業である。限られた空間で、児童が一つ一つの動きを丁寧に取り組めるようにしている。

## 5 研究主題に迫るための手だて

### (1) 児童一人一人が活動のおもしろさを味わいながら課題意識をもって取り組むことができる授業作り

#### ○適切な課題設定

各担任が中心となり、日常生活の様子や授業実践を通して、ねらいに即した児童の実態を見取り課題設定を行う。普段なかなか行う機会の少ない動きでも、児童が安心感をもち、意欲的な活動ができるような課題設定を心がけている。

#### ○見通しをもち活動できる授業展開

同じ場の設定で繰り返し活動することで、場の設定を見ただけで授業の流れや決まりが分かり、主体的に活動できるようにしている。児童の動線をパターン化することで、児童の動きやすさや、活動に対する安心感を与える。音楽を使つてのリズムジャンプでも、曲に合わせて動きをパターン化することで、見通しのもてる活動にしている。

#### ○運動時間の確保

場の設定を固定化することで、説明の時間を省略し、運動時間に充てる。また、バランスボールを取り入れることで、主運動までの時間を体幹を鍛える運動にし、常に運動をする場を与える。

### (2) かかわり合いを大切に活動

#### ○多様な課題に対応できるグループ編成

各活動から自分の課題を少しでも意識できるように、教師とのかかわり合いやものとのかわり合いを中心に、運動を通して友達同士のかかわり合いがもてるように、日頃の友人関係も考慮した

7 本時について (4 / 5 時間)

(1) 本時の目標

- 【運動】 リズムの変化に合わせて、歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。  
両足をそろえて踏み切り、高く跳ぶことができる。  
押す、引くなどの力試しの動きの基礎を身に付けることができる。
- 【態度】 運動にすすんで取り組み、きまりを守って安全に活動に取り組んでいる。
- ◎【思考・判断】 友達と一緒に楽しく活動をしようとしている。

(2) 展開

時間	学習内容	☆指導 ◎支援 ◆評価 (観点・方法)
15分	1. あいさつをする。  2 準備運動をする。  3 リズムジャンプをする。     3. 力試しの運動をする。 ・座っている相手の背中を押す。 ・ギタンバックン ・そり遊び ・手と手を合わせて押し合い	☆本時の学習内容を確認し、活動全体に見通しをもたせる。 ◎互いに動きが見合えるような並びにし、友達の動きを意識しながら運動できるようにする。 ☆二人組を作り、手をつないで音楽に合わせて体を動かすよう指示をし、示範をする。 ◎組み合わせは、人間関係や体格、性別等を考慮し、事前に考えておく。 ◎友達同士、見合いながら体を動かすよう言葉がけをする。 ◆リズムの変化に合わせて、歩く、走る、跳ぶ動きをすることができる。(観察) ☆2人組で行うよう指示をする。 ◎教師の指示に合わせ、友達の体を押ししたり引いたりするよう言葉がけをする。 ◎友達の様子を意識させ、痛がっているようなら力を加減するよう働きかける。 ◆力試しの基礎を身に付けることができたか。(観察) ◆友達と一緒に楽しく活動をしようとしていたか。(観察)

25分	<p>4. 体を移動する運動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>安全に気をつけて、きまりを守って運動しよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 バランスボールに座る。</li> <li>2 ハードルを両足跳びでジャンプする。</li> <li>3 つるされた目印めがけて両足で高くジャンプする。</li> <li>4 ケンケンバをする。</li> <li>5 フラフープを手で回し、跳ぶかまたぎ越しをする。</li> <li>6 歩いてバランスボールに戻る。</li> </ol>	<p>☆前の児童がスタートしたら、ハードル前のケンステップの中に立って待つように働きかける。</p> <p>☆活動のルール確認は、児童の実態に応じて個別に行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順番が来るまではバランスボールに座る。 (バランスボールは前の人スタートしたら一つずつずれて座る。一つのバランスボールにつき10回は座った状態で跳ねるようにする。)</li> <li>・教師の合図でスタートする。</li> <li>・前の児童がスタートしたら、次の児童はハードル前のケンステップに移動して待つ。</li> <li>・各運動後は一度止まる。</li> </ul> </div> <p>◎スタート合図は、児童の活動の様子を見ながらT1、T2が出す。</p> <p>◎個別指導が必要な児童は個々に対応する。</p> <p>◎個の実態によって教具や運動に変化をつける。</p> <p>◆運動にすすんで取り組み、きまりを守って安全に活動に取り組んでいたか。(観察)</p>
5分	<p>5. 整理運動をする。</p> <p>6. あいさつをする。</p>	<p>☆バランスボールに座っている状態で行う。</p> <p>☆あいさつをする前に、終了後の児童の動きについて具体的に伝える。</p>

### (3) 評価

#### 【運動への態度】

- ・運動にすすんで取り組み、きまりを守って安全に活動に取り組んでいたか。

#### ◎【運動についての思考・判断】

- ・友達と一緒に楽しく活動をしようとしていたか。

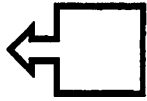
#### ○【運動の技能】

- ・リズムの変化にあわせて、歩く、走る、跳ぶ動きをすることができていたか。
- ・両足をそろえて踏み切り、高く跳ぶことができていたか。
- ・押す、引くなどの力試しの動きの基礎を身に付けることができていたか。

場の設定 (サーキット運動時)



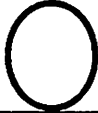
: バランスボール



: ケンステップ



: ハードル



: フラフープ



: ケンパステップ

